

「ダイバーシティ(多様性の受容)～社会で子どもを守りはぐくむ～」

この人権展は、1983年2月の「大浪橋差別落書き事件」を契機として、人権問題の早期解決を願い、1985年12月に通天閣で「第1回なにわ人権展」を開催して以来、毎年開催しているものです。

今回は浪速・西・港・大正の4区主催により、各区人権啓発推進協議会などの関係機関、各種団体のご協力を得て、「ダイバーシティ」(人として多様な外見上の違いや内面的な違いに関わりなく、認め合い、受け入れ、ともに生きること)をテーマに、子どもの人権を中心に各種人権課題のパネル展示に加え、児童・生徒の人権啓発ポスター・標語の展示、啓発ビデオコーナー等を設置しました。また、様々な年齢層や属性の方にご参加いただけるよう、講演会やコンサート、交流会など、多彩な催しを実施しました。



「スマホ・ネットの現状と対策」

12月6日(金)

一般社団法人ソーシャルメディア研究会チーフ技術指導員
竹内 義博 さん
子どもたちをネットの被害者にも加害者にもさせないために

「未来を紡ぐ!子どもたちに笑顔を」

12月6日(金)

一般社団法人こもれび代表理事 水流添 綾 さん
子どもをめぐる問題への大人が担う役割やかかわり方

太鼓集団「怒」による講演と演奏



12月8日(日)

「太鼓の町」浪速で誕生した「怒」。成り立ちについての講演と演奏

なくそう貧困。命の水を!
アジアフェスティバル

12月8日(日)

公益財団法人アジア協会アジア友の会専務理事兼事務局長 村上 公彦さんによる講演と、インド舞踊・ベリーダンス・フラメンコ

守ろう!こどもの心
～そしてまずは大人の心から～

12月9日(月)

一般財団法人児童虐待防止機構オレンジCAPO理事長 島田 妙子 さん
壮絶な虐待を受けた自身の経験を踏まえた講演

外国にルーツをもつ子どもへの包括的支援
～支援者に必要な三つの力をのばす～

12月9日(月)

HEAL ホリスティック教育実践研究所所長 金 香百合 さん
外国にルーツをもつ子どもたちが幸せに生きるために

人・愛・ふれあいプラザ

12月7日(土) 会場：西区民センター



「にし人権展」の記念事業として、「人・愛・ふれあいプラザ」を開催し、「社会で子どもを守りはぐくむ」をテーマに、人権落語家 桂 七福さんによる講演落語や楽しく歌う♪ふうふ<<ケチャップマヨネーズ?>>によるコンサートを行いました。